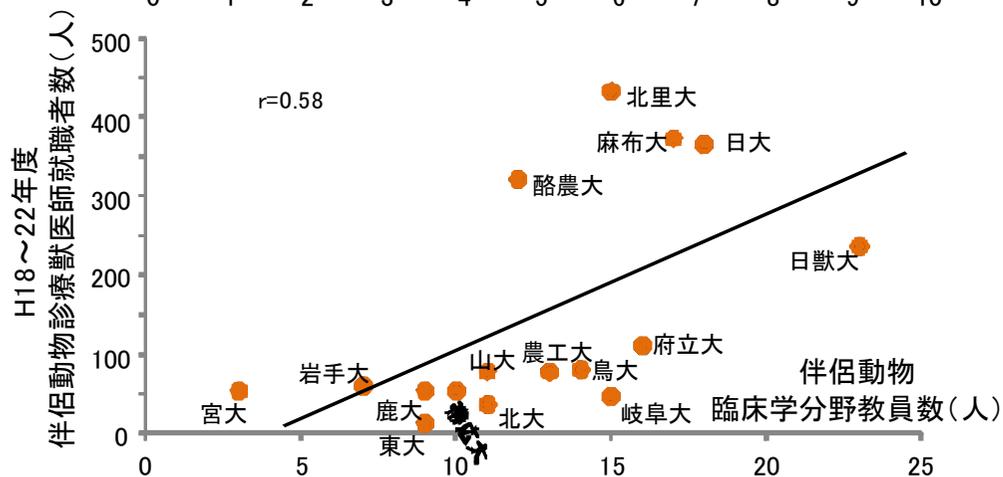
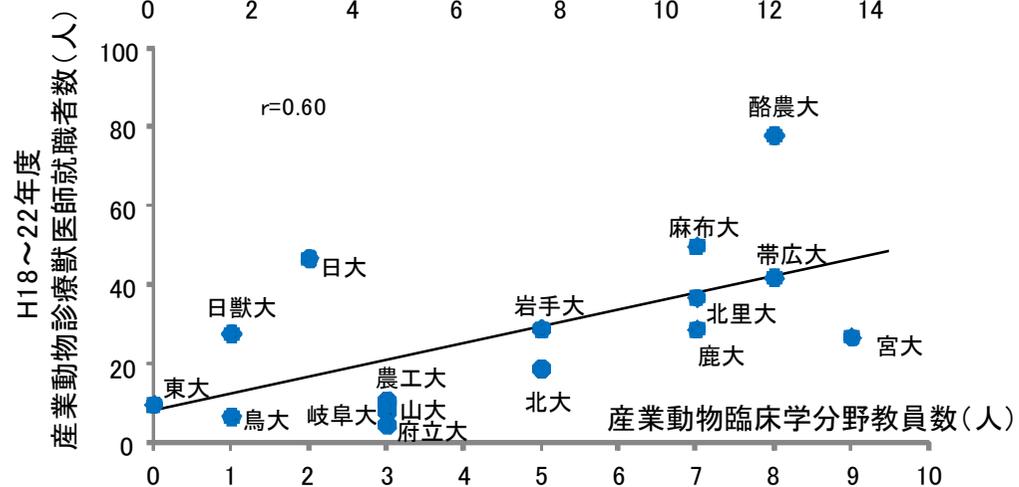
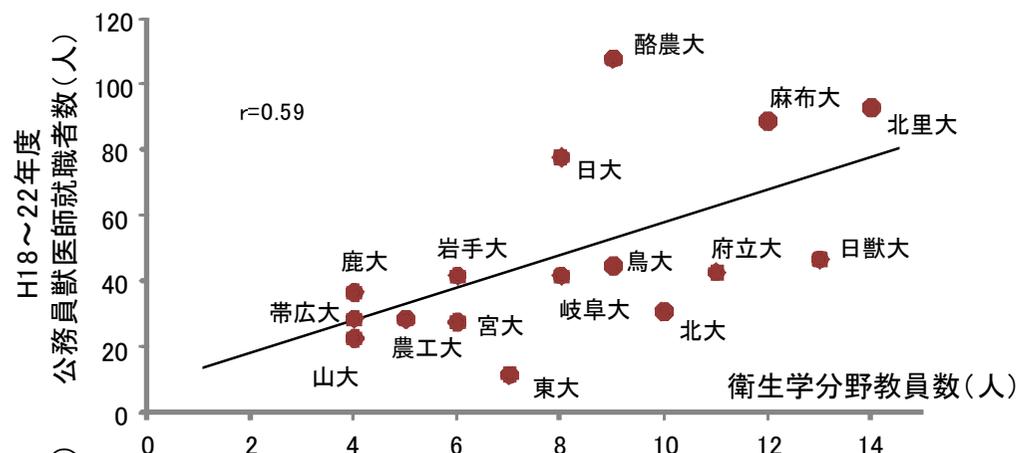


# 各教育分野の専任教員数と学生の就職動向について(1)



※各大学における平成18~22年度の公務員獣医師, 産業動物診療獣医師, 伴侶動物獣医師就職者の各総数は, 各大学の専任教員総数に対して, 有意な相関を示さない(グラフなし)。

•すなわち, 専任教員規模の大きな大学が, 多くの公務員獣医師, 診療獣医師を輩出しているわけではない。

※各大学における平成18~22年度の公務員獣医師就職者の総数は, 各大学における衛生学分野の専任教員数に対して正の相関がある(グラフ上段)。

•すなわち, 衛生学分野の専任教員数の多い大学では, 多くの公務員獣医師を輩出している。

※各大学における平成18~22年度の産業動物診療獣医師就職者の総数は, 各大学における産業動物臨床獣医学分野の専任教員数に対して正の相関がある(グラフ中段)。

•すなわち, 産業動物臨床学分野の専任教員数の多い大学では, 多くの産業動物診療獣医師を輩出している。

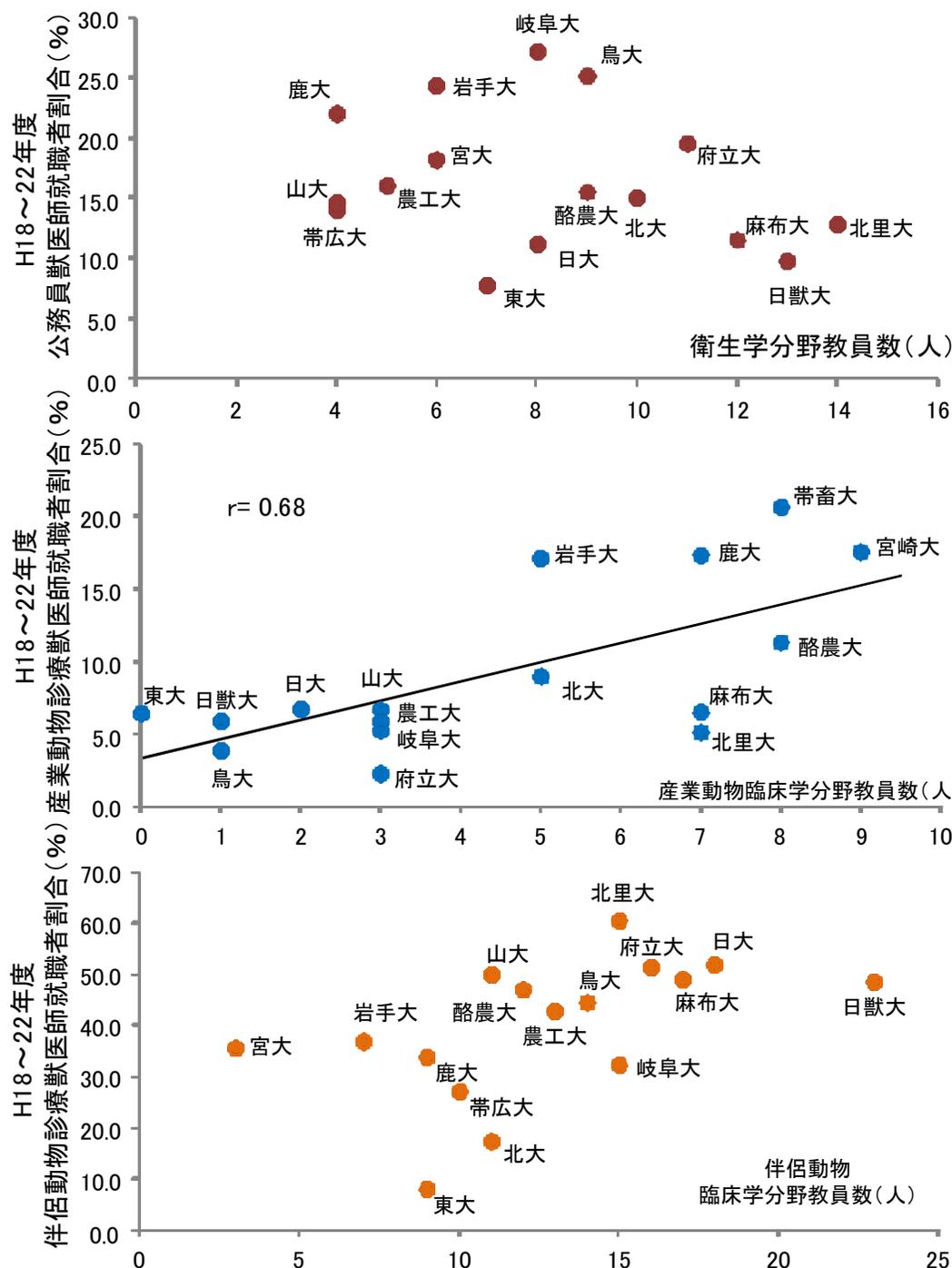
※各大学における平成18~22年度の伴侶動物診療獣医師就職者の総数は, 各大学における伴侶動物臨床獣医学分野の専任教員数に対して正の相関がある(グラフ下段)。

•すなわち, 伴侶動物臨床学分野の専任教員数の多い大学では, 多くの伴侶動物診療獣医師を輩出している。

※大学における衛生学及び臨床獣医学分野の専任教員数に依存して, 学生の就職動向は変化する傾向がある。

●相関係数の有意水準( $n=16$ 校,  $r>0.57$ は $p<0.02$ で有意)

## 各教育分野の専任教員数と学生の就職動向について(2)



※各大学における平成18~22年度の公務員獣医師就職者割合(卒業者数に対する比率, %)は, 各大学における衛生学分野の専任教員数に対して, 相関しない(グラフ上段)。

- 衛生学分野の専任教員数の多い大学では, 多くの公務員獣医師を輩出しているが, 卒業者数(学生定員)の影響がある。

※各大学における平成18~22年度の産業動物診療獣医師就職者割合(卒業者数に対する比率, %)は, 各大学における産業動物臨床獣医学分野の専任教員数に対して正の相関がある(グラフ中段)。

- 産業動物臨床学分野の専任教員数の多い大学では, 多くの産業動物診療獣医師を輩出している。卒業者数(学生定員)の影響はない。

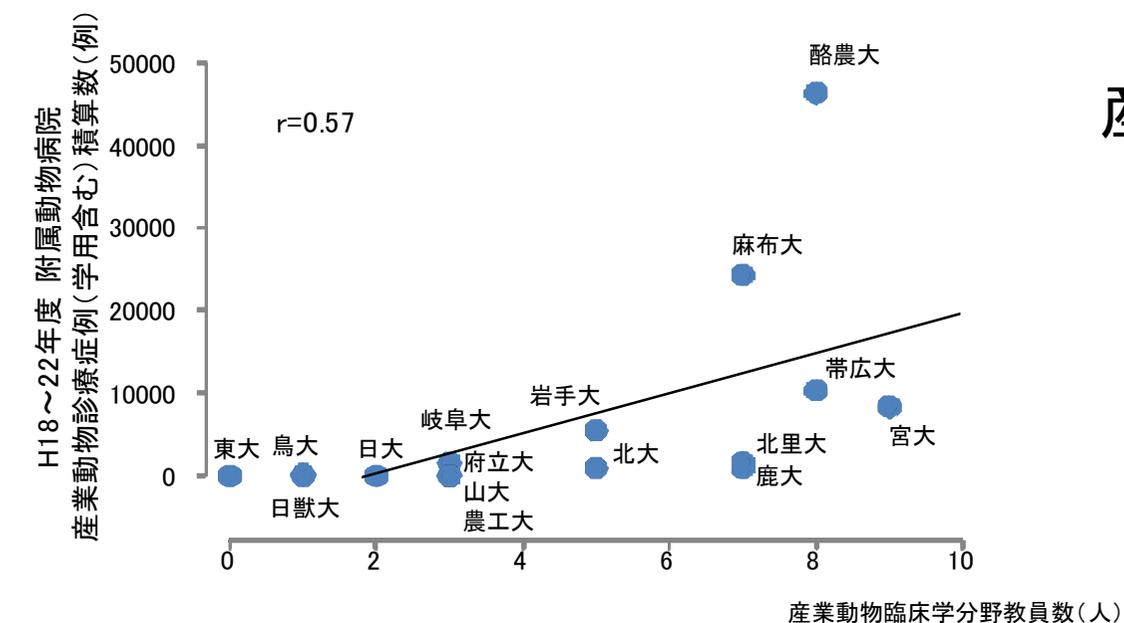
※各大学における平成18年度~22年度の伴侶動物診療獣医師就職者割合(卒業者数に対する比率, %)は, 各大学における伴侶動物分野の専任教員数に対して, 相関しない(グラフ下段)。

- 伴侶動物臨床学分野の専任教員数の多い大学では, 多くの伴侶動物診療獣医師を輩出しているが, 卒業者数(学生定員)の影響がある。

※特に, 産業動物診療獣医師への就職動向に対し, 同分野の専任教員数は大きく影響している。

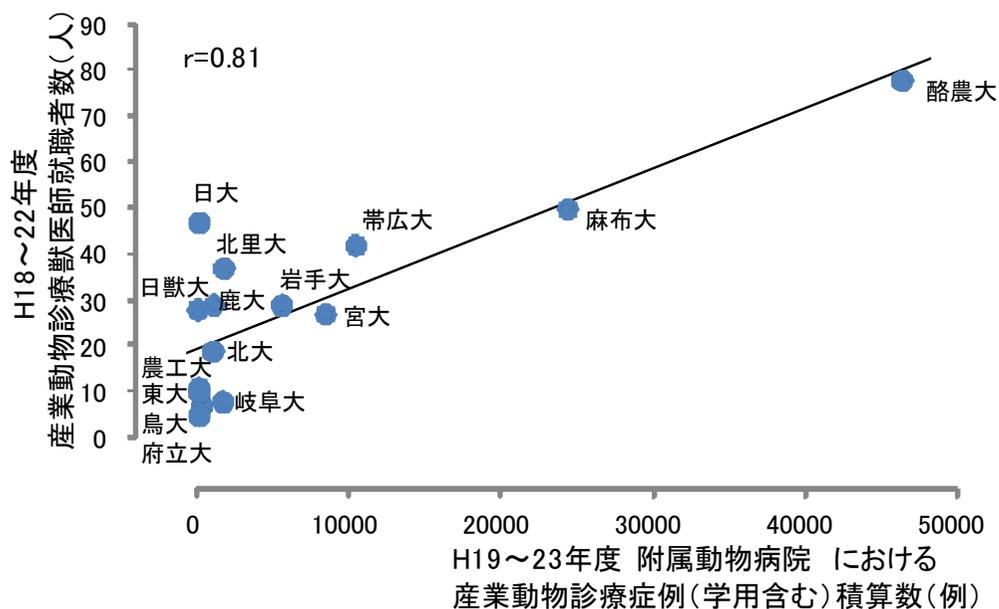
●相関係数の有意水準( $n=16$ 校,  $r>0.63$ は $p<0.01$ で有意)

## 産業動物臨床分野における 動物病院症例数と 学生の就職動向について



※各大学におけるH19~23年度の各大学附属動物病院における産業動物症例積算数は、各大学における産業動物臨床獣医学分野の専任教員数に対して、弱い正の相関がある(グラフ上段)。

•すなわち、産業動物臨床学分野の専任教員数の多い大学では、附属動物病院における産業動物診療症例数が多い傾向にある。



※H18~22年度の各大学における産業動物診療獣医師就職者総数は、各附属動物病院における平成19~23年度の産業動物症例積算数に対して高い相関がある(グラフ下段)。

•すなわち、附属動物病院における産業動物診療症例数の多い大学からは、多くの産業動物診療獣医師を輩出している。

●相関係数の有意水準( $n=16$ 校,  $r>0.57$ は  $p<0.02$ で有意,  $r>0.63$ は  $p<0.01$ で有意)